市議会
6月定例会

市総合計画の基本構想の改定、病院事業会計補正予算など

追加3議案を可決

市議会6月定例会で、6月24日に追加提案した舞鶴市総合計画の基本構想の改定、23年度一般会計補正予算（第2号）、23年度病院事業会計補正予算（第2号）の3議案について審議。7月8日、いずれも可決されました。

補正予算

◆一般会計（第2号）

市民病院の診療体制などの見直しに伴い、病院事業会計への補助金を補正するもので、歳入・歳出いずれも2，791万円の減額となっています。

この結果、予算総額は歳入・歳出いずれも334億2，726万円となりました。

◆特別会計

◇病院事業会計（第2号）…収益的支出において、非常勤医師による外来診療や休日診療の終了、職員体制の見直しなどに伴い、非常勤医師報償費、材料費など1億9，405万円を減額。資本的支出においては、外来診療用医療機器の購入費500万円を減額。

この結果、予算総額は収益的収支で12億136万円、資本的収支で1億8，969万円となりました。

新たな総合計画を策定　8月1日から

東アジアに躍動する国際港湾・交流都市

今後、市が目指すべき方向やまちづくりを進めていく上での指針となる「新たな舞鶴市総合計画」の基本構想（平成23～30年度）が市議会6月定例会で可決。8月1日（月）からスタートします。

同計画は、今後8年間のまちづくりの方向性を定める基本構想とその前期4年間の具体的な施策を示す実行計画（23～26年度）の2階層で構成。市民ワークショップからの提言や総合計画審議会からの答申、市民アンケート調査の結果などを踏まえ策定しました。

計画の概要は次のとおり。

◆計画の概要

《基本構想》

◇都市像…〝東アジアに躍動する国際港湾・交流都市舞鶴〟

◇基本目標…〝子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち・舞鶴〟の実現

《実行計画（まちづくり戦略）》

◇まちの安定的成長◇みんなで支え合う地域づくり◇次代を担う人材の育成

なお、詳細については、広報まいづる8月1日号でお知らせします。

詳しくは、企画政策課（☎66・1042）へ。

パブリック・コメント手続制度

環境基本計画 新素案に意見を

市では、良好な環境の保全と創造に向けて、「第2期舞鶴市環境基本計画（含 地球温暖化対策実行計画［区域施策編］）」（平成23～32年度）の策定を進めています。

このたび、計画の新素案がまとまりましたので、市パブリック・コメント手続制度（市民意見提出制度）に基づき、市民の皆さんから意見を募集します。

新素案は、1月に同制度に基づき、皆さんから旧素案に対する意見を募集しましたが、市長交代に伴い、あらためて素案を見直し、施策や目標指標の追加、内容の変更などを行い、取りまとめました。

◆新素案の概要

《めざすべき環境像》～人も地域も地球も元気～環境にやさしい持続可能なまちづくり

《基本目標》①低炭素社会の実現②循環型社会の確立③自然との共生社会の確立④良好な生活環境の確保⑤協働社会の推進

《温室効果ガスの削減目標》2020年度（平成32年度）までに温室効果ガス（※1）を1990年度（平成2年度）比で25％削減

（※1）温室効果ガス…太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を温める働きがある気体の総称（二酸化炭素（CO_2）やメタン（CH_4）など）

◆募集期間　8月5日（金）まで

◆新素案の公表場所　生活環境課、情報公開コーナー、西支所、加佐分室、中央・東・西・南公民館、大浦・城南会館、東・西図書館、市ホームページで閲覧できます。

◆提出方法　様式は自由。住所、氏名、電話番号（またはファクス）を記入し、「第2期舞鶴市環境基本計画（案）に対する意見」と明記して、郵送か持参、ファクス、電子メールで同課へ。匿名、電話、口頭による意見は受け付けません。

◆提出された意見の取り扱い　提出された意見などを考慮して最終案を作成。また、意見の概要と意見に対する市の考え方を整理し公表します（氏名などは公表しません）。

【見直し前の旧素案に対する意見の募集結果】

見直し前の旧素案に対し、4人から24件の意見提出がありました（募集期間：1月4日～31日）。

寄せられた意見は、素案の修正などを行うものが1件、その趣旨を運用面に反映させていくものが2件、意見の趣旨が既に素案に盛り込まれているものが7件、市の考え方を説明し、ご理解いただくものが14件でした。

詳しくは、同課（☎66・1005、FAX66・1015）へ。

郷土資料館企画展

7月16日～8月28日 三庄太夫の塩つくり

7月16日（土）～8月28日（日）、郷土資料館で企画展「三庄太夫の塩つくり」を開催。平安時代の丹後地方を舞台とした安寿と厨子王の物語には、多くの人々を使って製塩業を営む三庄太夫（山椒大夫）が登場します。また、市内沿岸部には、古代の製塩遺跡が数多く存在しています。企画展では、市内や周辺地域で塩つくりに使われていた道具や当時の様子を紹介します。入館無料。

◆日時　7月16日～8月28日の9時～17時

◆場所　郷土資料館

◆展示内容　◇市内や宮津市、京丹後市、高浜町（福井県）で出土した製塩土器◇神崎地区、由良地区（宮津市）で使われた塩つくり道具◇三庄太夫錦絵（市指定文化財・糸井文庫）など約100点

関連イベント

《親子古代体験教室「勾（まが）玉をつくります」》7月23日（土）10時と13時から同館。対象は小・中学生とその保護者。先着各5組。

《古文書初級講座「江戸時代の絵草子で三庄太夫を読む」》7月31日（日）13時30分から同館。先着10人。

いずれも参加費1人300円。申し込みは、前日までに電話かファクスで同館へ。

詳しくは、同館（☎・FAX75・8836）へ。

【休館のお知らせ】郷土資料館では、収蔵資料の保全を図るため、8月13日（土）～15日（月）に収蔵庫内の燻蒸作業を実施します。これに伴い、同館と市民会館、西公民館が休館となります。

【燻蒸できます】郷土資料館の燻蒸に併せて、地域で管理されている古文書や仏像などを燻蒸できます。希望する団体は、7月29日（金）までに電話で社会教育課へ。

詳しくは、同課（☎66・1073）へ。

大型記念オブジェが完成

大型記念オブジェ

10月29日（土）と30日（日）に開催する国民文化祭・京都2011の舞鶴市主催事業「赤れんがアートフェスティバル」の取り組みの一環として、市役所正面玄関前で制作していた大型記念オブジェ『始まりの時』（高さ約4㍍、幅約3.5㍍）が完成。7月7日、「ライトアップ点灯式」を行いました。大型記念オブジェは、側面に市内の子供たち約1,100人が制作した陶板を張り付け立体作品に仕上げました。来年3月まで電力供給への影響を考慮し、当面、20時から22時までライトアップを実施します。《企画政策課》

国民文化祭・京都2011

◀PR隊長 まゆまろ

赤れんがアートフェスティバル「ステージイベント」出演団体募集

国民文化祭・京都2011の舞鶴市主催事業「赤れんがアートフェスティバル」で実施するステージイベントの出演団体を募集します。

◆日時　10月29日、10時～17時

◆場所　東体育館前

◆応募規定　◇市内を活動拠点とし、20歳以下で構成する10人以上の団体◇同フェスティバルを盛り上げるステージ内容（ジャズなどの演奏、ダンス、合唱など）であること◇実施日までに国民文化祭をPRすること

◆出演時間　1組30分程度

◆参加費　無料

◆定員　5組程度（選考により決定）

◆申し込み方法　所定の用紙（企画政策課に備え付け。市ホームページからダウンロード可）に企画書と出演団体の写真を添付し、実行委員会事務局へ郵送か持参。8月1日（月）必着。

詳しくは、実行委員会事務局（企画政策課内、☎66・1042、FAX62・5099）へ。

東地区

公立保育所の統合・改築に向け

市民の意見を聞く会を開催

市では、老朽化が進み統合・改築を計画している東地区の3公立保育所（東保育所、東乳児保育所、南乳児保育所）について、整備場所の決定や保育内容などに市民の皆さんの意見を反映させるため、次のとおり意見交換会を開催。参加者を募集します。

◆会場と日時　◇**南乳児保育所**…8月5日（金）19時～21時◇**東保育所**…8月6日（土）10時～12時◇**中総合会館**…8月7日（日）14時～16時◇**東乳児保育所**…8月9日（火）19時～21時◇**西総合会館**…8月10日（水）14時～16時◇**東公民館**…8月12日（金）14時～16時

◆申し込み方法　8月1日（月）までに電話かファクスで子ども育成課（☎66・1009、FAX62・7957）へ。